

丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金事業による
経済効果の検証

調査報告書

令和4年3月9日

一般財団法人 百十四経済研究所

目次

調査結果 概要	1
【1】調査の概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査の方法	2
(1) 給付金事業並びにポイント還元事業実施に伴う丸亀市民の消費行動の変化把握	2
(2) 消費行動変化による丸亀市内の店舗等事業者の業況に与えた効果の調査	2
【2】丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金給付事業等の概要	3
1. 給付金事業の枠組み	3
(1) 給付金事業の経緯	3
(2) 給付金事業の事業費	3
(3) 給付対象者及び受給権者	3
(4) 給付金申請状況	4
(5) 給付金給付状況	4
2. ポイント還元事業の概要	5
(1) PayPay について	5
(2) ポイント還元事業の枠組み	5
(3) ポイント還元事業の結果	5
【3】アンケート調査結果	6
1. 市民向けアンケート調査	6
(1) 調査方法	6
(2) 調査項目	6
(3) 調査期間	6
(4) 回答総数・回答比率	6
(5) 回答者属性	6
(6) 給付金の消費比率	7
(7) 丸亀市内の消費比率	9
(8) 階層別消費状況	10
(9) 給付金の使い道	10
(10) 給付金事業の効果	12
(11) ポイント還元事業に関するアンケート結果	13
(12) ポイント還元事業での消費項目	14
(13) ポイント還元事業の効果	14

2. 事業者向けアンケート調査	16
(1) 調査方法.....	16
(2) 調査項目.....	16
(3) 調査期間.....	16
(4) 回収結果.....	16
(5) 事業者業種別構成	16
(6) 事業所数、従業員数.....	17
(7) 2021 年 7~9 月における売り上げ変化.....	17
(8) 2021 年 7~9 月における採算の状況	18
(9) 2021 年 10 月以降における売り上げ変化.....	19
(10) 2021 年 10 月以降における採算の状況	19
(11) ポイント還元事業による事業者の経済効果の状況	20
【4】 まとめ	21
【資料編】	22

調査結果 概要

2021年8月から実施された丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金事業による給付金の利用状況や同事業の経済効果等を検証することを目的に、丸亀市民並びに丸亀市内の店舗等事業者を対象に実施したアンケート調査は、以下の結果となった。

1. 市民向けアンケート結果

(1) 丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金の平均消費

1人当たり一律3万円の丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金の平均消費比率は77.3%と推計された。この結果から、給付金総額、約33億円のうち、77.3%に相当する約25億円は消費に回ったと推計される

(2) 丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金の丸亀市内での平均消費

丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金による消費額のうち、丸亀市内の店舗等で消費された平均消費率は82.9%と推計された。丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金のうち約25億円は消費されたと推計されているが、この結果からこの消費額の82.9%に相当する約21億円は、丸亀市内で消費されたと推計される。

(3) 丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金事業に対する丸亀市民の評価

「給付金は、家計への支援になったと思いますか？」との質問に対し、70%超の回答者が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な回答をした。また「給付金は、高齢者や子育ての支援になったと思いますか？」との質問に対し、過半数の回答者が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な回答をした。以上のことから、丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金事業は、市民から一定の評価を得たと推察される。

(4) PayPay キャッシュレス決済ポイント還元事業に対する丸亀市民の評価

「いつもよりもたくさんの商品・サービスが買えましたか？」との質問に対して、70%超の回答者が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見を示した。また、「丸亀市内のお店での消費につながったと思いますか？」との質問に対して、約80%の回答者が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見を示した。以上のことから、PayPay キャッシュレス決済ポイント還元事業は、丸亀市内での消費喚起に一定の効果があつたと評価できる。

2. 事業者向けアンケート結果

(1) 2021年7~9月期の売り上げ変化・2021年10月以降の売り上げ変化

香川県で「まん延防止等重点措置」が発令されていた2021年7~9月の売り上げ変化に関し、「前期より好転」と回答した割合は全体の10.6%、「前期より悪化」と回答した割合は全体の39.5%となった。一方、「まん延防止等重点措置」解除後の2021年10月以降の売り上げ変化に関しては、多くの業種で「前期より悪化」と回答した割合は低下した。

(2) 丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金事業による売り上げ下支え効果

市民向けアンケートにおける「給付金の使い道」において、給付金が多く消費された、商品・サービス（例：食品、日用品）を扱う業種では、売り上げが下支えされた一方、給付金であまり消費されなかった商品・サービス（例：ファッション）を扱う業種では、給付金による売り上げを下支えする効果が大きくなかった状況が推察された。

(3) PayPay キャッシュレス決済ポイント還元事業による売り上げ下支え効果

PayPay キャッシュレス決済ポイント還元事業実施期間中の対象事業者の取引額は、事業開始前と比較し、大幅に増加しており、丸亀市内の事業者に対して一定の経済効果を与えたと評価できる。

【1】調査の概要

1. 調査の目的

丸亀市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により丸亀市内の経済状況に大きな影響がある中、家計への支援を行うとともに市民生活の安定化を図り、その経済効果をもって市内事業者への支援を行うことを目的として、2021年8月から給付対象となる丸亀市民に定額給付金を給付する「丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金給付事業」（以下「給付金事業」という）を実施した。加えて、丸亀市内の店舗等事業者を支援するため、給付金事業と連動させて「PayPay キャッシュレス決済ポイント還元事業」（以下「ポイント還元事業」という）を2021年9、10月の2か月間にわたり実施した。

本調査業務は、給付金事業、並びにポイント還元事業の実施に伴う丸亀市民の消費行動の変化を把握するとともに、その消費行動の変化が、丸亀市内の店舗等事業者の業況に与えた効果を調査分析するものである。

2. 調査の方法

(1) 給付金事業並びにポイント還元事業実施に伴う丸亀市民の消費行動の変化把握

丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金（以下、「給付金」という）を受け取った丸亀市内の世帯に対し、給付金の消費実態並びにポイント還元事業の利用状況について、市民アンケート調査を行う。

市民アンケート調査結果から、丸亀市民の給付金消費比率や丸亀市内における消費比率を推計するとともに、給付金受給、並びにポイント還元事業実施による消費行動の変化と効果を把握する。

(2) 消費行動変化による丸亀市内の店舗等事業者の業況に与えた効果の調査

丸亀商工会議所及び丸亀市飯綾商工会の会員事業所のうち、丸亀市内で個人向けに商品・サービスを提供する事業を営む店舗等事業者に対し、事業所アンケート調査を行う。

事業所アンケート調査結果から、市民アンケート調査で把握した、丸亀市民の消費行動の変化が、丸亀市内の店舗等事業者の業況に与えた効果を調査する。

【2】丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金給付事業等の概要

1. 給付金事業の枠組み

(1) 給付金事業の経緯

- ・ 令和3年第3回丸亀市議会6月定例会で、丸亀市は市民に一律の定額給付金を給付するための費用、57億3000万円を含んだ令和3年度丸亀市一般会計補正予算案を提案した。
- ・ 丸亀市議会での協議の末、議員提案として支給額を一人につき3万円とする案が提案され、採決の結果、賛成多数で可決された。

(2) 給付金事業の事業費

コロナ緊急経済対策特別定額給付金給付事業費として、令和3年度丸亀市一般会計補正予算には、34億7,600万円が計上された。(図表2-1-1)

【図表2-1-1】給付金事業 事業費

(金額単位：百万円)

給付金 (①)	給付金等業務 委託料 (②)	その他事務費 (③)	合計 (①+②+③)
3,381	61	34	3,476

(3) 給付対象者及び受給権者

「丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金給付事業実施要綱(令和3年6月22日告示第37号)」(以下、「実施要綱」)では、給付対象者を下表(図表2-1-2)の条件を満たす市民と規定。また実施要綱では、給付金の申請・受給権者は、給付対象者の属する世帯の世帯主と規定。この結果、給付金の給付対象世帯数・受給権者数は約50,700世帯、給付対象者は約111,700人となった。

給付対象世帯のうち、給付申請を行った世帯は49,706世帯、給付者数は110,448人となり、給付対象世帯の約98%が給付申請を行ったことになる。

【図表2-1-2】実施要綱第2条「給付対象者」(抜粋)

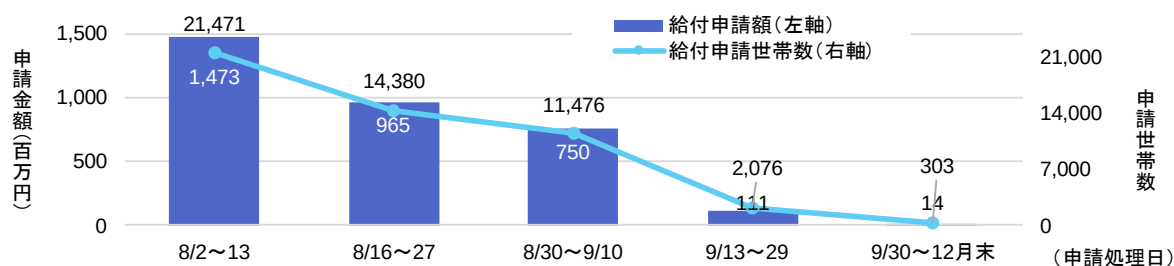
- ・ 令和3年7月1日を基準日とし、基準日に丸亀市の住民基本台帳に記録されている者で、かつ令和3年4月1日から継続して丸亀市の住民基本台帳に記録されている者。
- ・ 給付対象者の属する世帯において、令和3年4月2日から基準日までに出生し、出生後最初に記録された住民基本台帳が丸亀市の者であり、かつ、基準日まで継続して丸亀市の住民基本台帳に記録されている者。
- ・ 基準日において、いずれかの市町村の住民基本台帳に記録されている者のうち、配偶者からの暴力を理由に丸亀市に避難し、配偶者と生計を別にしており、及びその同伴者であって、以下の①の要件を満たし、かつ、②又は③の要件のいずれかを満たしており、その旨を市長に申し出た者。
 - ① 令和3年4月1日から継続して本市に居住実態を有していること。
 - ② その配偶者に対し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律第10条の規定による保護命令が出されていること。
 - ③ 婦人相談所による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」(婦人相談所以外の配偶者暴力支援センターが発行した証明書を含む。)が発行されていること。
- ・ 丸亀市に所在する児童養護施設(児童福祉法(昭和22年法律第164号)第41条に規定するものをいう。)及びこれに準ずる施設であって、市長が特に認める施設に入所している者のうち、令和3年4月1日から継続して本市に居住実態を有しているものについては、給付対象者とみなす。

(4) 給付金申請状況

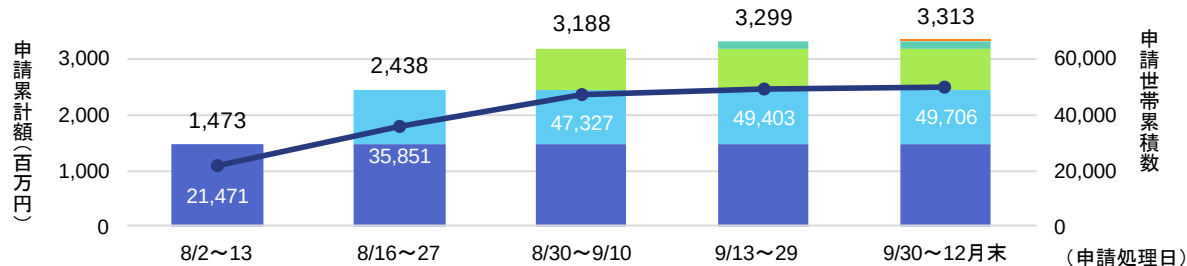
給付金の給付申請書は、2021年7月30日から8月5日頃にかけて、給付対象世帯に順次郵送された。

給付申請の処理状況は下図（図表 2-1-3、図表 2-1-4）の通りとなり、8月第4週までの申請処理数は35,851世帯、申請処理金額は24億3,800万円と、給付対象世帯の約70%については、8月中に申請処理が行われた。そして12月末までに49,706世帯（全世帯の98.10%）から33億1,300万円の給付申請を受け付けた。

【図表 2-1-3】給付金の申請処理金額・世帯数の推移



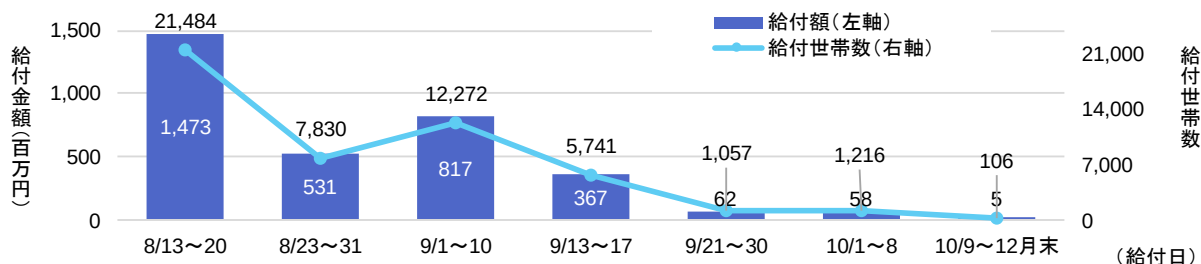
【図表 2-1-4】給付金の申請処理金額・世帯数の累計推移



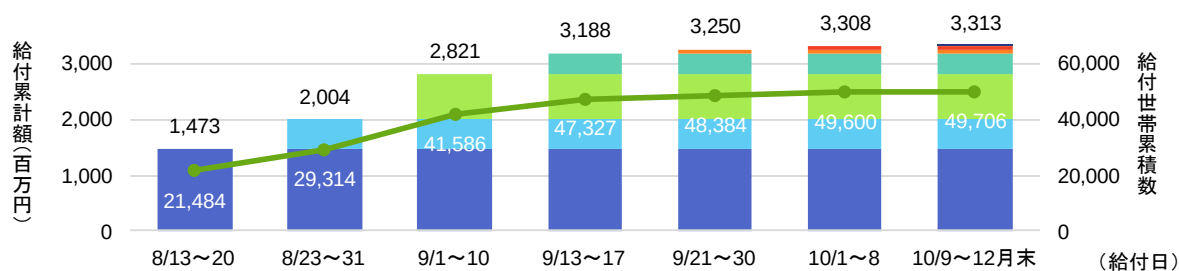
(5) 給付金給付状況

給付状況は下図（図表 2-1-5、図表 2-1-6）の通りとなり、8月中の給付総額は20億400万円と、給付総額の約60%の給付が完了した。原則、給付申請を受理した翌週には、給付が完了した状況がうかがえる。

【図表 2-1-5】給付金の給付金額・世帯数の推移



【図表 2-1-6】給付金の給付金額・世帯数の累計推移



2. ポイント還元事業の概要

(1) PayPay について

PayPay は前払い型電子マネーである。利用者は、事前にスマートフォン等に PayPay 専用アプリをダウンロードし、「PayPay 残高」にチャージした上で、買い物などの決済に利用する。「PayPay 残高」へのチャージには、セブン銀行やローソン銀行の ATM から現金を入金、または利用額の引き落とし先として、銀行口座やクレジットカード等を登録する必要がある。

買い物などの決済に PayPay を利用した際、PayPay による決済額に応じて、「PayPay ボーナス」が付与される。「PayPay ボーナス」は、決済日の翌日から 30 日後に、「PayPay 残高」にチャージされ、買い物などの決済に利用できるようになる。

(2) ポイント還元事業の枠組み

今回ポイント還元事業では、丸亀市内の PayPay が利用できる対象事業所において、PayPay による決済額の 25%相当額が、PayPay ボーナスとして還元された。但し、PayPay ボーナスの還元上限額として、決済 1 回当たり 2 千円、並びに 1 ヶ月当たり 5 千円が設定された。

実施期間は、2021 年 9 月 1 日（水）から 10 月 31 日（日）の 2 か月間であった。

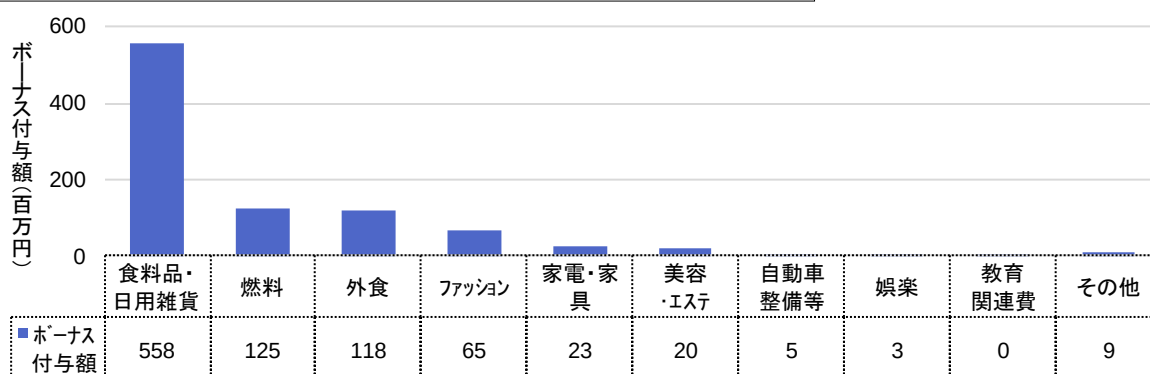
(3) ポイント還元事業の結果

ポイント還元事業の事業費は約 9 億 6,000 万円となり、内訳は下表（図表 2-2-1）の通りとなった。

【図表 2-2-1】ポイント還元事業 事業費				(金額単位：千円)
ポイント付与額 (①)	販売促進費 (②)	運営費 (③)	プラットフォーム 手数料 (④)	合計 (①+②+③+④)
926,484	1,787	1,100	30,574	959,945

ポイント還元事業におけるポイント付与額（約 9 億 2,600 万円）に関し、消費された商品・サービス別に付与額をみると、食料品・日用雑貨が 5 億 5,800 万円と最も多く、付与総額の 60%超を占めた。（図表 2-2-2）

【図表 2-2-2】消費された商品・サービス別 PayPay ボーナス付与額一覧



【3】アンケート調査結果

1. 市民向けアンケート調査

(1) 調査方法

給付金の給付を受けた丸亀市民の消費行動を把握するため、給付金の給付申請を行った丸亀市民から、無作為に 3,000 世帯を抽出し、アンケート調査票を送付した。

回答方法は、同封した返信用封筒によるアンケート調査票の返送に加え、インターネットによる回答も可能とした。

(2) 調査項目

給付金による丸亀市内の消費押し上げ効果を検証するため、給付金による消費行動、消費比率、新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費行動への影響度合いについて 15 問の質問項目を設定。また給付金事業に合わせて実施された PayPay キャッシュレス決済ポイント還元事業に関する質問項目も 6 問設定した。

(3) 調査期間

2021 年 10 月 25 日よりアンケート調査票の郵送を開始し、29 日に発送を完了。回答期限を 11 月 30 日としたが、12 月 10 日までに返送されたアンケート調査票についても集計に含めた。

(4) 回答総数・回答比率

発送総数 3,000 に対し、返信用封筒による回答数は 1,318、インターネットによる回答数は 269 となり、回答総数は 1,587、回答率は 52.9%となった。但し、質問によって有効回答数は異なった。また回答比率は、最小単位で四捨五入する関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない場合もある。(以下、本文中の図表も同様。)

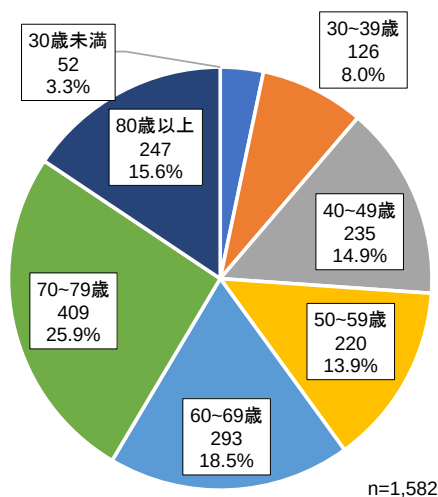
(5) 回答者属性

① 世帯主年齢

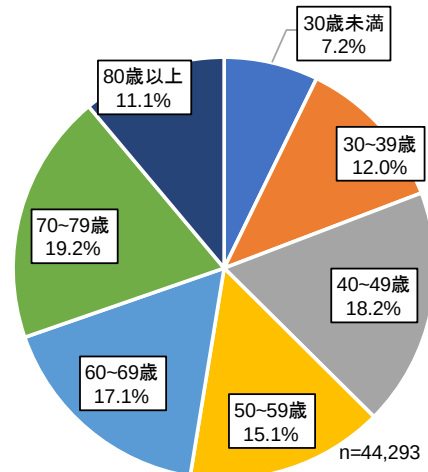
有効回答 1,582 件に関して年齢別にみると、「70~79 歳」の回答が最も多く、全体の 25.9%となった。次いで「60~69 歳」が 18.5%、「80 歳以上」が 15.6%となり、60 歳以上の回答が全体の 6 割を占めている。(図表 3-1-1)

総務省による「令和 2 年国勢調査」における丸亀市の世帯主年齢の構成比をみると、「70~79 歳」は全体の 19.2%、「60~69 歳」が 17.1%、「80 歳以上」が 11.1%で、60 歳以上は全体の 5 割に満たない。(図表 3-1-2) このことから、高齢者世帯ほど、今回のアンケート調査に対する関心が高かったことがうかがえる。

【図表 3-1-1】アンケート回答世帯 世帯主年齢構成



【図表 3-1-2】丸亀市の世帯主年齢構成(2020 年)

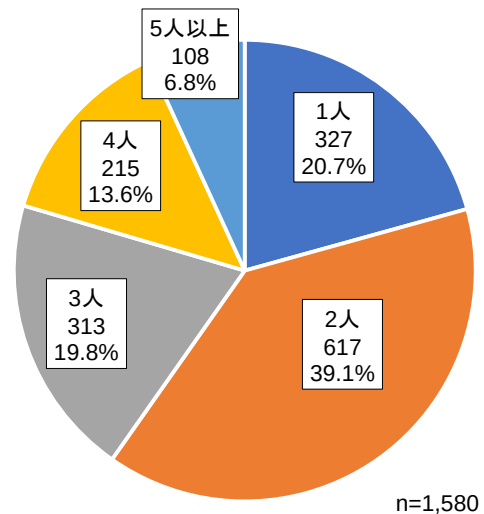


(出所：総務省「令和 2 年国勢調査」)

② 世帯人数

有効回答数 1,580 件に関して世帯の人数をみると、「2 人」世帯からの回答が最も多く、全体の 39.1%となった。次いで「1 人」世帯が 20.7%となり、世帯人数 2 人以下の世帯の回答が、全体の 6 割程度を占めている。(図表 3-1-3)

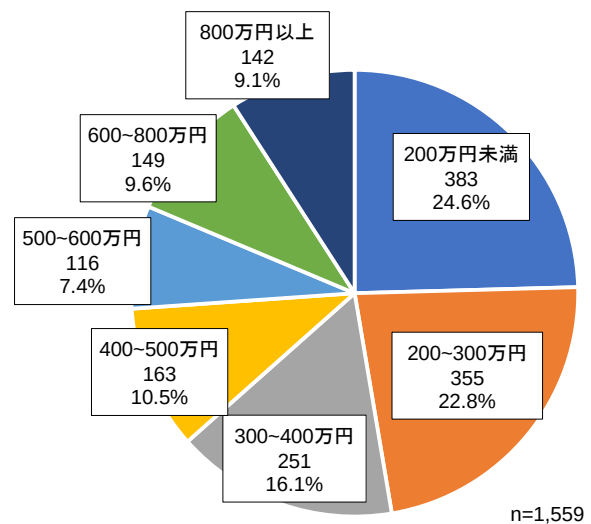
【図表 3-1-3】アンケート回答世帯 世帯人数構成



③ 世帯の年間収入

有効回答数 1,559 件に関して世帯の年間収入をみると、年間収入 200 万円未満の世帯からの回答が最も多く、全体の 24.6%となった。次いで 200 万円以上 300 万円未満が 22.8%、300 万円以上 400 万円未満が 16.1%となり、年間収入 400 万円未満の世帯からの回答が、全体の 6 割を超えている。(図表 3-1-4)

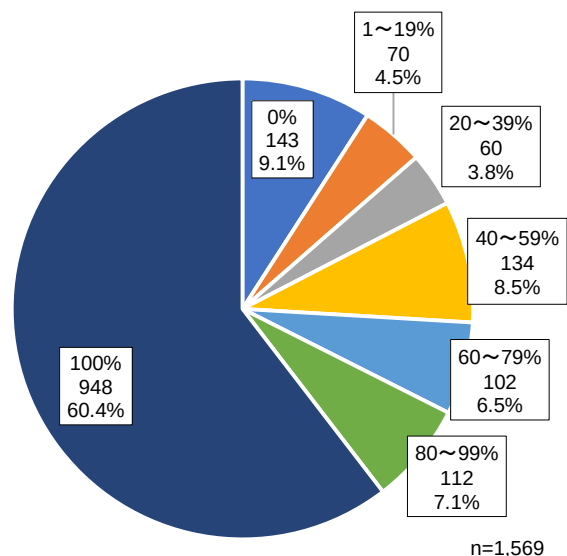
【図表 3-1-4】アンケート回答世帯年間収入構成



(6) 給付金の消費比率

「あなたの世帯が受け取った給付金のうち、貯蓄以外にいくら使いました（または使う予定です）か？」との質問に対する有効回答数 1,569 件に関して、「給付額の 0%」との回答は全体の 9.1%にあたる 143 件だったのに対し、「給付額の 100%」との回答は、全体の 60.4%にあたる 948 件となった。「給付額の 60~79%」との回答が 6.5% (102 件)、「給付額の 80~99%」との回答が 7.1% (112 件) あったことから、給付額の 60%以上を消費したとの回答が、全体の 7 割を超える結果となった。(図表 3-1-5)

【図表 3-1-5】アンケート回答世帯給付金消費比率



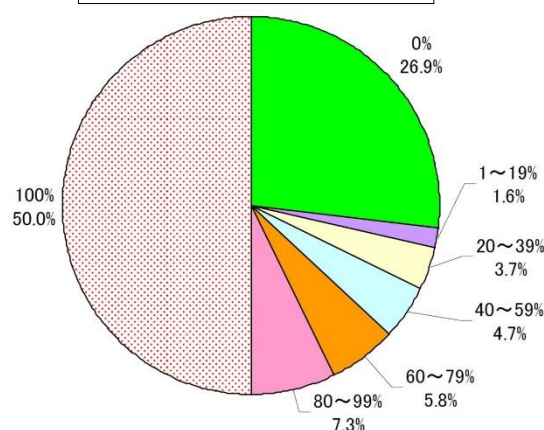
2008 年のリーマンショックを端緒として発生した景気後退に対処するため、政府が実施した定額給付金に関し、内閣府は、定額給付金の支出状況について全国 15,000 世帯を対象にアンケート調査を行い、その調査結果を 2010 年 1 月に『定額給付金に関連した消費等に関する調査』の結果について」として公表している。

同調査結果によれば、定額給付金はどの程度消費として支出されたのかをみたところ、0%とする世帯は 26.9%で、100%とする世帯が 50%あり、平均すると 1 世帯当たりの消費への支出比率は、平均すると 64.5%という結果となった、と報告された。

(図表 3-1-6)

(出所：内閣府『定額給付金に関連した消費等に関する調査』の結果について)

【図表 3-1-6】内閣府調査結果
(2010 年 1 月)



新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた緊急経済対策の一施策として、2020 年に政府は、国民一人 10 万円を給付する特別定額給付金を実施した。

株式会社三菱総合研究所（以下、「三菱総研」という）では、特別定額給付金による消費押し上げ効果を検証するために、2020 年 7 月に生活者アンケート調査（「生活者市場予測システム（mif）」アンケート調査、7 月 22-27 日に実施、回答者 5,000 人）を実施し、調査結果を「MRI Daily Economic Points」の中で発表している。同資料によれば、給付金の 6 割程度が貯蓄に回され、3 割程度（27.2%）が消費へ回った模様と報告された。(図表 3-1-7)

(出所：三菱総研「MRI Daily Economic Points」(August 4, 2020))

【図表 3-1-7】三菱総研調査結果
(2020 年 7 月)



■ 貯蓄
■ ①給付金で購入決定
■ ②-1給付金で質向上
■ ②-2給付金で量増加
■ ②-3質・量変化なし
■ ③寄付

2020 年に実施された一人 10 万円の特別定額給付金に関しては、他にいくつかの研究事例が見られるが、消費に回った割合が 3 割を超える調査結果は見いだせないことから、国が実施した給付金事業に照らして、今回の丸亀市が実施した給付金事業においては、消費に回った比率が高くなったと推察される。

今回のアンケート調査結果から、給付金の平均消費率を推計する。推計の方法としては、回答者の世帯人員にその世帯の消費率を用い、以下の算式で計算する。

$$\text{給付金平均消費率} = \Sigma (\text{回答者の世帯人数} \times \text{回答者の給付金消費率}) \div \Sigma (\text{回答者の世帯人数})$$

回答者の給付金消費率は、「あなたの世帯が受け取った給付金のうち、貯蓄以外にいくら使いました（または使う予定です）か？」に対する回答に応じて下表の計数を用いる。

回答	給付金の						
	0%	1~19%	20~39%	40~59%	60~79%	80~99%	100%
消費率	0%	10%	30%	50%	70%	90%	100%

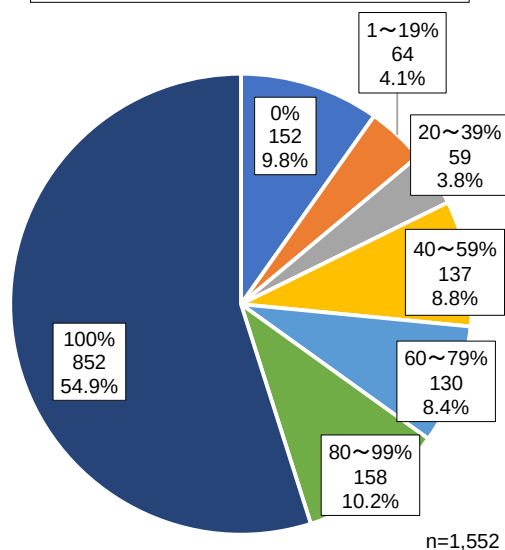
以上の算式に計算した結果、給付金平均消費率は 77.3%となった。

この結果から、今回の給付金事業での給付金総額、約 33 億円のうち、77.3%に相当する約 25 億円は消費に回ったと推計される。

(7) 丸亀市内の消費比率

「(給付金の消費金額のうち) 丸亀市内でいくら使いました (または使う予定ですか?)」の質問に対する有効回答数 1,552 件に関して、「使った金額の 0%」との回答は全体の 10%にあたる 152 件だったのに対し、「使った金額の 100%」との回答は、全体の 54.9%にあたる 852 件となった。「使った金額の 60~79%」との回答が 8.4%(130 件)、「使った金額の 80~99%」との回答が 10.2%(158 件)あり、使った金額の 60%以上を丸亀市内で消費したとの回答が、全体の 7 割を超える結果となった。(図表 3-1-8)

【図表 3-1-8】丸亀市内での消費比率



アンケート調査結果から、給付金の消費率同様、丸亀市内での平均消費率を推計する。推計の方法としては、給付金の消費率同様、以下の算式で計算する。

$$\text{丸亀市内平均消費率} = \frac{\sum (\text{回答者の世帯人数} \times \text{回答者の給付金消費率} \times \text{回答者の丸亀市内消費率})}{\sum (\text{回答者の世帯人数} \times \text{回答者の給付金消費率})}$$

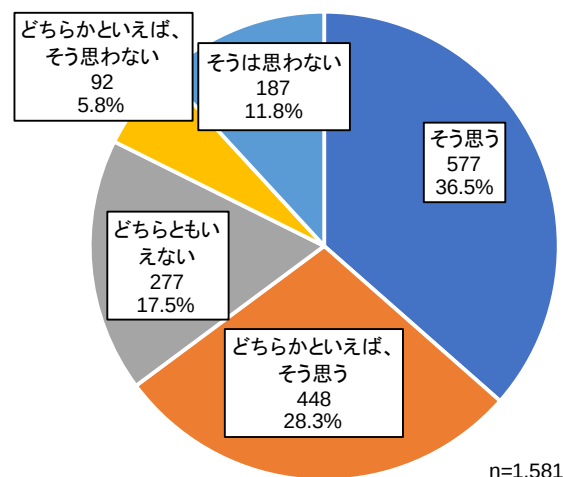
回答者の丸亀市内消費率は、「使った金額のうち、丸亀市内でいくら使いました (または使う予定ですか?)」に対する回答に応じて下表の計数を用いる。

回答	使った額の						
	0%	1~19%	20~39%	40~59%	60~79%	80~99%	100%
消費率	0%	10%	30%	50%	70%	90%	100%

以上の算式に計算した結果、給付金の丸亀市内平均消費率は 82.9%となった。

給付金のうち約 25 億円は消費されたと推計されているが、この結果から、この消費額の 82.9%に相当する約 21 億円は、丸亀市内で消費されたと推計される。

【図表 3-1-9】「給付金は、丸亀市内のお店での消費につながったと思いますか？」回答



「給付金は、丸亀市内のお店での消費につながったと思いますか?」との質問に対する有効回答数 1,581 件に関して、「そう思う」との回答が全体の 36.5%にあたる 577 件、「どちらかといえば、そう思う」との回答が全体の 28.3%にあたる 448 件となり、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が全体の 6 割を超えた。

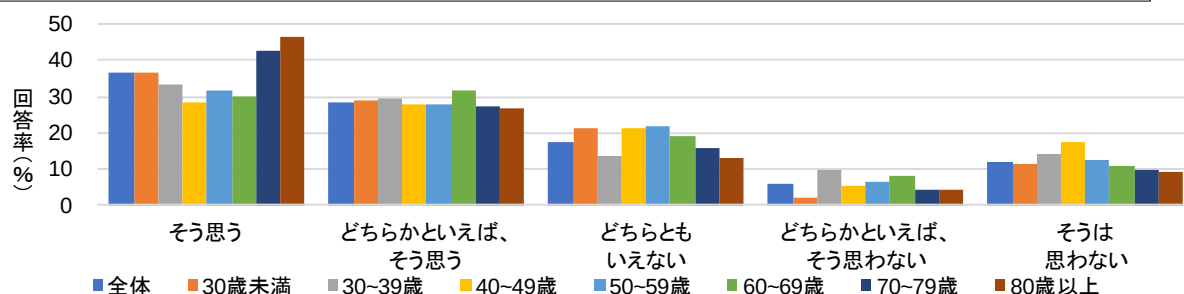
一方で「そうは思わない」との回答が全体の 11.8%にあたる 187 件、「どちらかといえば、そう思わない」との回答が全体の 5.8%にあたる 92 件となり、「そうは思わない」「どちらかといえば、そう思わない」といった否定的な意見は全体の 2 割に満たない。(図表 3-1-9)

(8) 階層別消費状況

「給付金は、丸亀市内のお店での消費につながったと思いますか？」との質問に対する回答を世帯主の年齢階層別にみると、「そう思う」との回答は、総じて年齢階層が高くなるにつれ回答比率が高くなる傾向がみられた。

一方で、「そうは思わない」との回答は、総じて年齢階層が高くなるにつれ、回答比率が低くなる傾向がみられた。(図表 3-1-10)

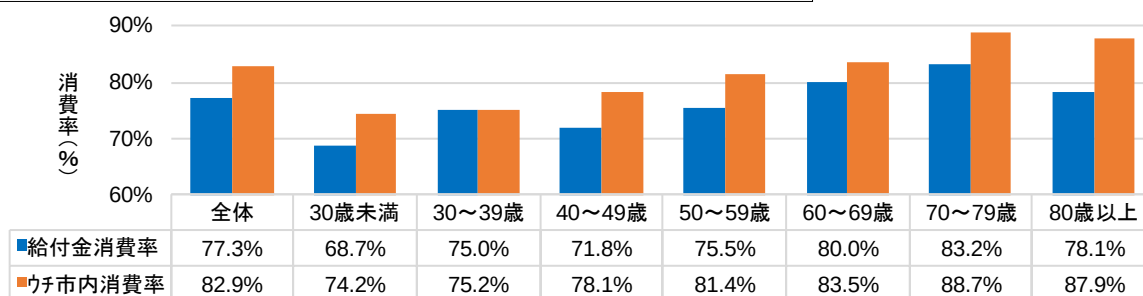
【図表 3-1-10】「給付金は、丸亀市内のお店での消費につながったと思いますか？」年齢階層別回答



前項(6)並びに(7)で推計した、給付金の消費比率、市内での消費比率を世帯主の年齢階層別にみると、総じて年齢階層が高くなるにつれて、給付金の消費比率、市内での消費比率ともに上昇する傾向がみられる。(図表 3-1-11)

高い年齢階層ほど、実際に丸亀市内で多くの給付金を消費した状況がうかがえる。

【図表 3-1-11】年齢階層別 給付金の消費比率、丸亀市内での消費比率



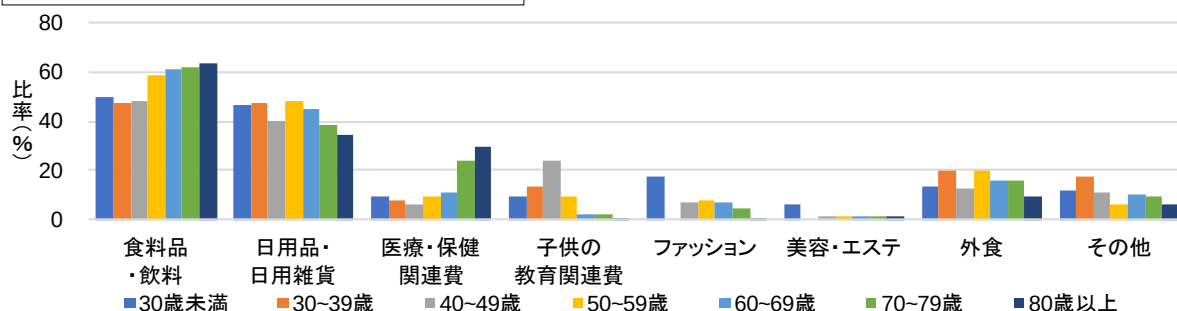
(9) 給付金の使い道

給付金の使い道をみると、「食料品・飲料」が最も多く、次いで「日用品・日用雑貨」が多く、給付金の多くは必需品の消費に回された状況がうかがえる。

世帯主の年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるにつれ、「食料品・飲料」の消費率が上昇する傾向がみられ、また「医療・保健関連費」も同様に年齢階層が高くなるにつれ、消費率が上昇する傾向がみられる。

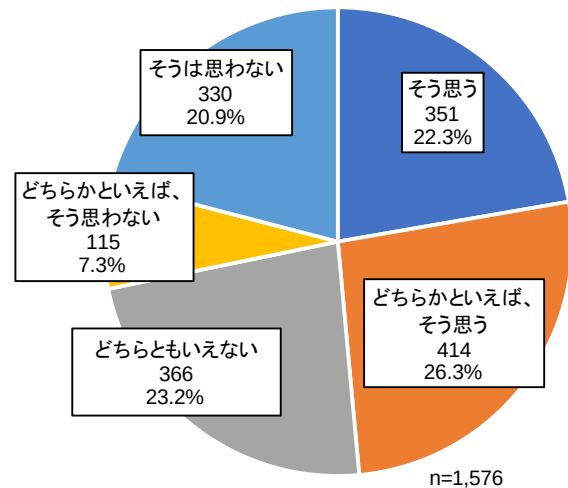
世帯主年齢が 30~40 歳代の子育て世代では、「子供の教育関連費」に給付金を充てた状況がうかがえる。「ファッション」や「美容・エステ」といった商品・サービスに関しては、30 歳未満の世帯での消費行動が確認できるが、それ以上の年齢階層においては、給付金が、ほとんどの部門への消費に回されなかった状況がうかがえる。(図表 3-1-12)

【図表 3-1-12】給付金の使い道(複数回答)



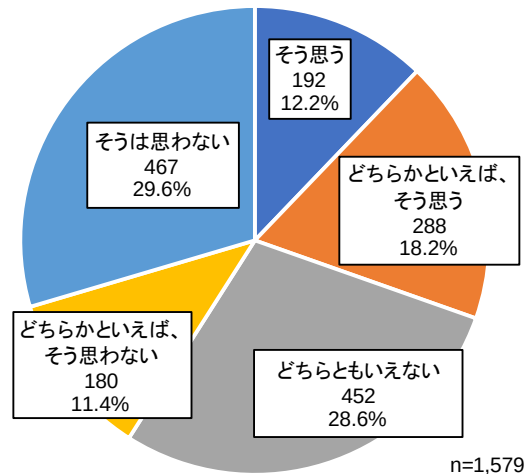
「給付金で、いつもよりもたくさんの商品・サービスが買えましたか？」との質問に対する有効回答数 1,576 件に関して、「そう思う」との回答が全体の 22.3%にあたる 351 件、「どちらかといえば、そう思う」との回答が全体の 26.3%にあたる 414 件となり、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見がほぼ半数を占めた。一方で「そうは思わない」との回答が全体の 20.9%にあたる 330 件、「どちらかといえば、そう思わない」との回答が全体の 7.3%にあたる 115 件となり、「そうは思わない」「どちらかといえば、そう思わない」といった否定的な意見よりも肯定的な意見の方が多数を占めた。(図表 3-1-13)

【図表 3-1-13】「たくさん買えましたか？」回答



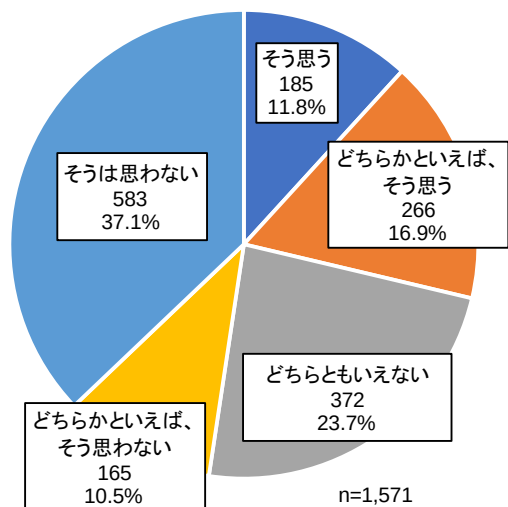
「給付金で、いつもよりもワンランク上の商品・サービスが買えましたか？」との質問に対する有効回答数 1,579 件に関して、「そう思う」との回答が全体の 12.2%にあたる 192 件、「どちらかといえば、そう思う」との回答が全体の 18.2%にあたる 288 件となり、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が全体の 3 割を占めた。一方で「そうは思わない」との回答が全体の 29.6%にあたる 467 件、「どちらかといえば、そう思わない」との回答が全体の 11.4%にあたる 180 件となり、「そうは思わない」「どちらかといえば、そう思わない」といった否定的な意見は全体の 4 割を超え、肯定的な意見よりも多くなった。(図表 3-1-14)

【図表 3-1-14】「ワンランク上の商品買えましたか？」回答



また「給付金で、以前から欲しかったけれど、買えなかった商品・サービスが買えましたか？」との質問に対する有効回答数 1,571 件に関して、「そう思う」との回答が全体の 11.8%にあたる 185 件、「どちらかといえば、そう思う」との回答が全体の 16.9%にあたる 266 件となり、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が全体の 3 割に満たない。一方で「そうは思わない」との回答が全体の 37.1%にあたる 583 件、「どちらかといえば、そう思わない」との回答が全体の 10.5%にあたる 165 件となり、「そうは思わない」「どちらかといえば、そう思わない」といった否定的な意見は全体の半数近くを占め、肯定的な意見よりも多くなった。(図表 3-1-15)

【図表 3-1-15】「欲しかった商品買えましたか？」回答

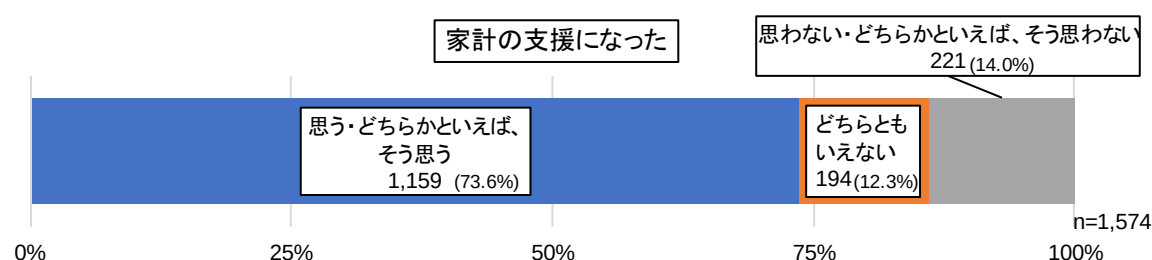


以上のことから、給付金事業は、消費の「質」よりも消費の「量」を押し上げる効果のほうが、大きかったと推察される。

(10) 給付金事業の効果

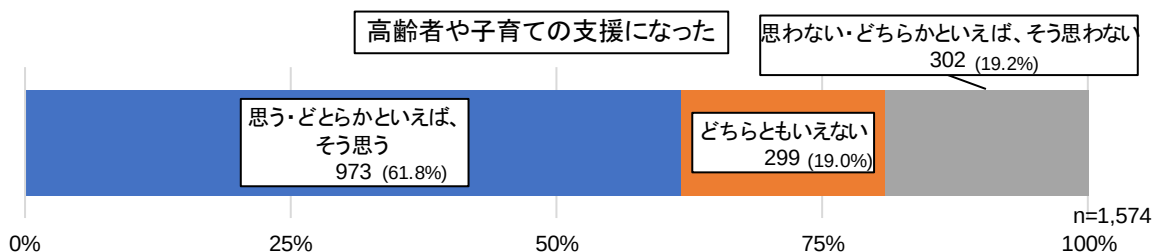
「給付金は、家計への支援になったと思いますか？」との質問に対する有効回答数 1,574 件に関して、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が 1,159 件(73.6%)とほぼ 4 分の 3 を占めており、丸亀市民からは、給付金事業の家計支援効果に対して、好評価を得ていると推察される。(図表 3-1-16)

【図表 3-1-16】給付金事業の評価「給付金は、家計への支援になったと思いますか？」



また「給付金は、高齢者や子育ての支援になったと思いますか？」との質問に対する有効回答数 1,574 件に関して、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が 973 件(61.8%)と過半数を超えた。特に今回のアンケート調査では、高齢者世帯からの回答が多かったことから、給付金事業に対する高齢者層から一定の評価を得ていると推察される。(図表 3-1-17)

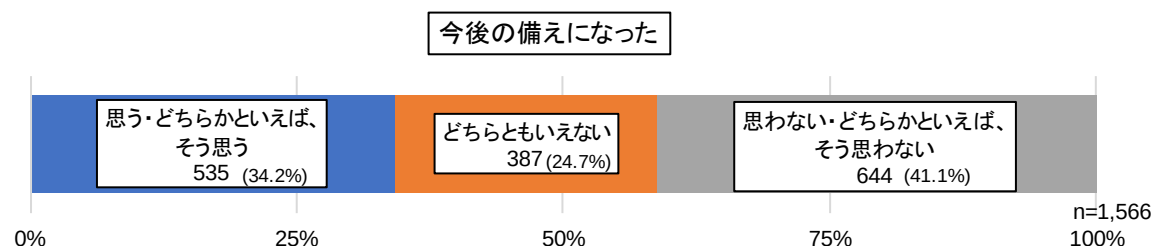
【図表 3-1-17】給付金事業の評価「給付金は、高齢者や子育ての支援になったと思いますか？」



一方「給付金は、今後の備えになったと思いますか？」との質問に対する有効回答数 1,566 件に関して、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が 535 件(34.2%)と 3 割程度にとどまり、逆に「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」といった否定的な意見が 644 件(41.1%)と肯定的な意見数を上回っている。

「今後の備え」としての評価が低くなったことは、給付金の消費率が高かったことから察せられるように、備えとしての貯蓄に回さず、給付金の多くを消費に回したことの証左と考えられる。(図表 3-1-18)

【図表 3-1-18】給付金事業の評価「給付金は、今後の備えになったと思いますか？」

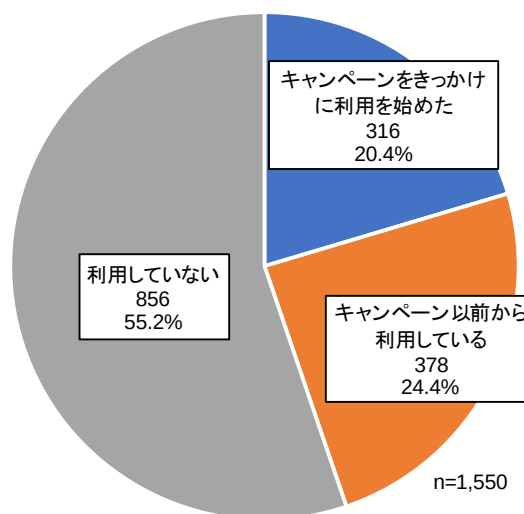


(11) ポイント還元事業に関するアンケート結果

ポイント還元事業に関してもアンケート調査を実施した。

「今回のキャンペーン期間中に PayPay を利用しましたか？」との質問に対する有効回答数 1,550 件に関して、「キャンペーンをきっかけに利用を始めた」との回答が全体の 20.4%にあたる 316 件、「キャンペーン以前から利用している」との回答が全体の 24.4%にあたる 378 件となり、ポイント還元事業期間中に PayPay を利用した人は全体の約 45%となった。また「利用していない」との回答は全体の 55.2%にあたる 856 件と過半数の人は、PayPay を利用していなかった。(図表 3-1-19)

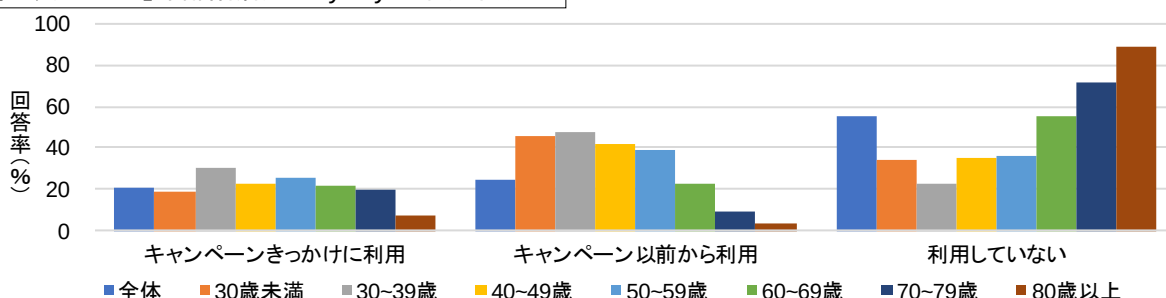
【図表 3-1-19】PayPay の利用状況



世帯主の年齢階層別に PayPay の利用状況をみると、「キャンペーンをきっかけに利用を始めた」の回答率は、80 歳以上を除き、概ね 20%前後で年齢階層によって大きな差はなかった。一方「キャンペーン以前から利用している」の回答率は、50 歳代以下の若い年齢階層では 40%程度だが、70 歳代以上の高齢層では、10%を下回る結果となった。

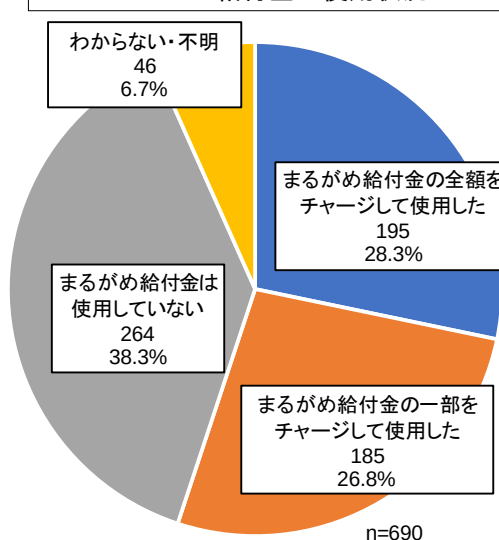
逆に「利用していない」の回答率は、60 歳代以上では 50%を超えていた。高齢層には、キャッシュレス決済やキャッシュレス決済にスマートフォン等の ICT 機器が十分に浸透していないことも要因と考えられる。(図表 3-1-20)

【図表 3-1-20】年齢階層別 PayPay の利用状況



「PayPay チャージに、まるがめ給付金を使用しましたか？」との質問に対する有効回答数 690 件に関して、「給付金全額を使用」したとの回答が全体の 28.3%にあたる 195 件、「給付金の一部を使用」したとの回答が全体の 26.8%にあたる 185 件となり、PayPay を利用した人の半数以上は給付金を活用していたことがうかがえる。(図表 3-1-21)

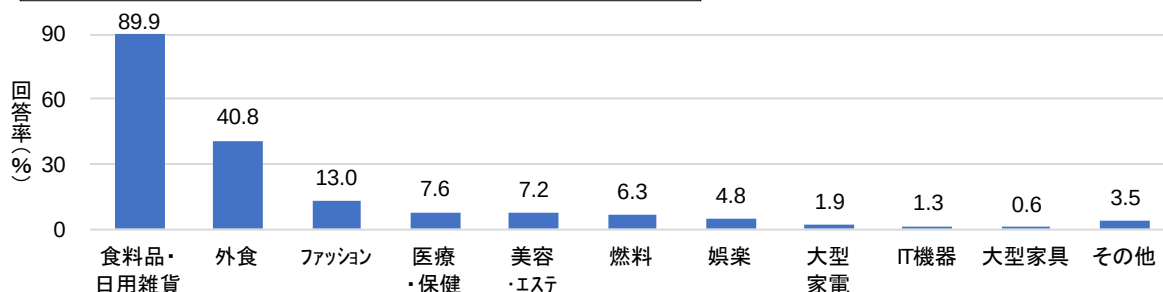
【図表 3-1-21】ポイント還元事業における給付金の使用状況



(12) ポイント還元事業での消費項目

ポイント還元事業での消費項目をみると、「食料品・日用雑貨」が圧倒的に多く、回答者の約 9 割が「食料品・日用雑貨」と回答している。次いで約 4 割の回答者が「外食」と回答した。(図表 3-1-22)

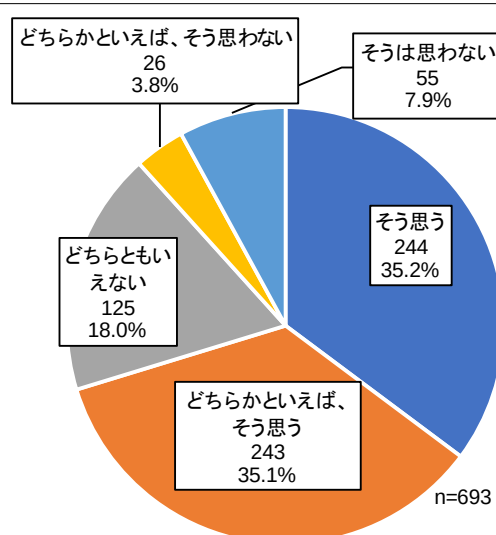
【図表 3-1-22】ポイント還元事業での消費項目(複数回答)



(13) ポイント還元事業の効果

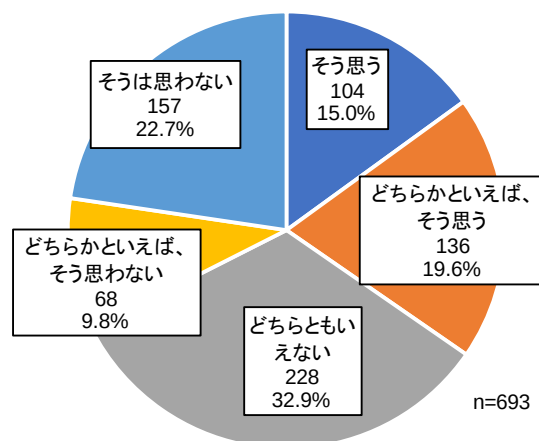
「ポイント還元事業で、いつもよりもたくさんの商品・サービスが買えましたか？」との質問に対する有効回答数 693 件に関して、「そう思う」との回答が全体の 35.2%にあたる 244 件、「どちらかといえば、そう思う」との回答が全体の 35.1%にあたる 243 件となり、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が全体の 7 割を超えた。一方で「そうは思わない」との回答が全体の 7.9%にあたる 55 件、「どちらかといえば、そう思わない」との回答が全体の 3.8%にあたる 26 件となり、「そうは思わない」「どちらかといえば、そう思わない」といった否定的な意見は全体の 1 割程度に留まっており、利用者からは、ポイント還元事業による消費の「量」押し上げ効果に対して、好評価を得ていると推察される。(図表 3-1-23)

【図表 3-1-23】「たくさん買えましたか？」回答



「ポイント還元事業で、いつもよりもワンランク上の商品・サービスが買えましたか？」との質問に対する有効回答数 693 件に関して、「そう思う」との回答が全体の 15.0%にあたる 104 件、「どちらかといえば、そう思う」との回答が全体の 19.6%にあたる 136 件となり、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が全体の 3 分の 1 程度となった。一方で「そうは思わない」との回答が全体の 22.7%にあたる 157 件、「どちらかといえば、そう思わない」との回答が全体の 9.8%にあたる 68 件となり、「そうは思わない」「どちらかといえば、そう思わない」といった否定的な意見は肯定的な意見とほぼ同数となった。(図表 3-1-24)

【図表 3-1-24】「ワンランク上の商品買えましたか？」回答



今回のポイント還元事業では、ポイント還元率を決済額の 25%とする一方、1回の決済におけるポイント還元上限額を 2,000 円としたことから、1回の決済額が 8 千円を超えると、8 千円を上回る部分にはポイントが付与されない。

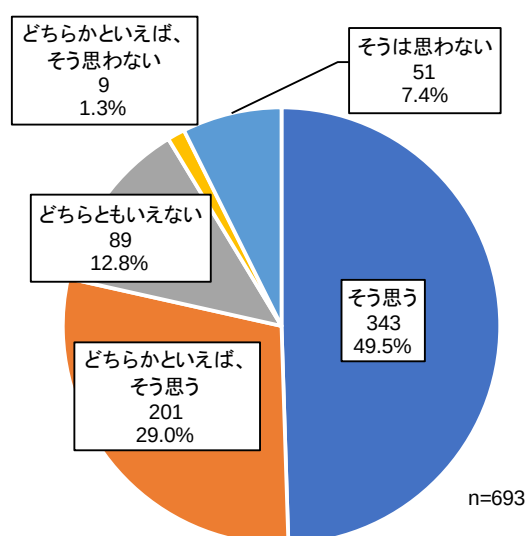
このため利用者としては、1回の決済額を 8 千円以内に抑えようとする消費行動を取ったと推察され、ファッションや大型家電製品等、比較的単価の高い製品購入では、PayPay の利用は少なかったと考えられる。従って、「いつもよりもたくさんの商品・サービスが買えましたか？」との質問には、肯定的回答が多く集まったものの、「いつもよりもワンランク上の商品・サービスが買えましたか？」との質問には肯定的回答が多数を占めなかったと考えられる。

【図表 3-1-25】丸亀市内での消費喚起効果の評価

「ポイント還元事業で、丸亀市内のお店での消費につながったと思いますか？」との質問に対する有効回答数 693 件に関して、「そう思う」との回答が全体の 49.5%にあたる 343 件、「どちらかといえば、そう思う」との回答が全体の 29.0%にあたる 201 件となり、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が全体の約 8 割を占めた。

一方で「そうは思わない」との回答が全体の 7.4%にあたる 51 件、「どちらかといえば、そう思わない」との回答が全体の 1.3%にあたる 9 件となり、「そうは思わない」「どちらかといえば、そう思わない」といった否定的な意見は全体の 1 割にも満たなかった。

(図表 3-1-25)



「ポイント還元事業で、いつもよりもたくさんの商品・サービスが買えましたか？」との質問に対して、7 割を超える回答者が肯定的な意見を示した。また「ポイント還元事業で、丸亀市内のお店での消費につながったと思いますか？」との質問に対しても、過半数の回答者が肯定的な意見を示した。以上のことから、ポイント還元事業は、丸亀市内での消費喚起に一定の効果があったと評価できる。但し給付金事業同様、消費の「質」よりも消費の「量」を押し上げる効果のほうが大きかったと推察される。

2. 事業者向けアンケート調査

(1) 調査方法

丸亀商工会議所及び丸亀市飯綾商工会の会員事業所のうち、丸亀市内で個人向けに商品・サービスを提供する事業を営む 730 事業所にアンケート調査票を送付。

回答方法は、同封した返信用封筒によるアンケート調査票の返送とした。

(2) 調査項目

給付金事業、並びに給付金事業に合わせて実施された PayPay キャッシュレス決済ポイント還元事業(7月、9月、10月)が実施されていた、7月から10月までの売り上げ、採算の状況を中心に、8問の質問項目を設定した。

(3) 調査期間

2021年11月1日よりアンケート調査票の郵送を開始。回答期限を11月30日としたが、12月10日までに返送されたアンケート調査票についても集計に含めた。

(4) 回収結果

発送総数 730 に対し回収数は 329 となり、回収率は 45.1%となった。但し、回答事業者のうち、丸亀市内の事業所数を「0」と回答、または無回答とした 22 事業者については、集計より除外した。

(5) 事業者業種別構成

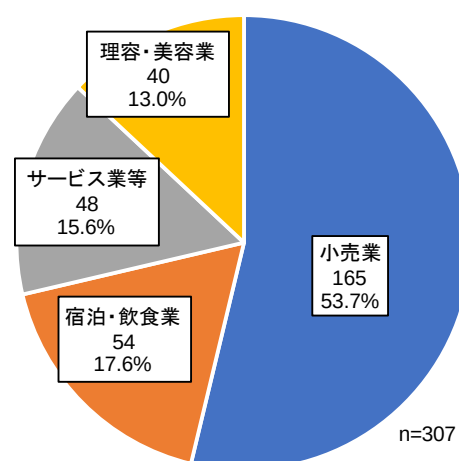
回答事業者を業種別にみると、小売業からの回答は、全体の約 54%にあたる 165 事業者であった。小売業のうち、「飲食料品小売業」が 38 事業者、「衣類等小売業」が 11 事業者、そして「その他小売業」が 116 事業者であった。なお「その他小売業」には、化粧品・医薬品販売業者、自動車販売業者、ガソリンスタンド等が含まれる。

宿泊・飲食業からの回答は、全体の 17.6%にあたる 54 事業者であった。宿泊・飲食業のうち、「宿泊業」は 3 事業者、「飲食業」は 51 事業者であった。

サービス業等からの回答は、全体の 15.6%にあたる 48 事業者であった。サービス業のうち、「生活関連サービス」は 32 事業者、「娯楽・レジャー」並びに「運輸・輸送業」は各 6 事業者、そして「教育・学習」は 4 事業者であった。

理容・美容業からの回答は、全体の 13%にあたる 40 事業者であった。(図表 3-2-1)

【図表 3-2-1】アンケート回答事業者業種別構成

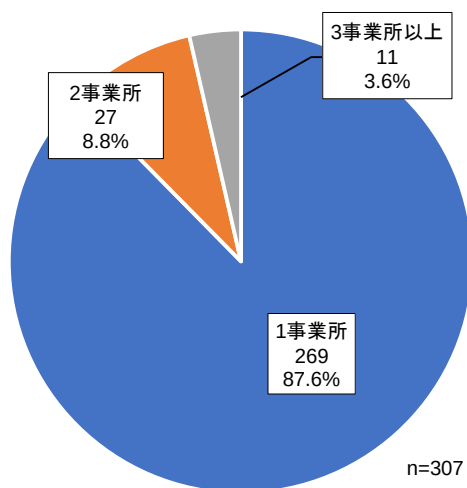


(6) 事業所数、従業員数

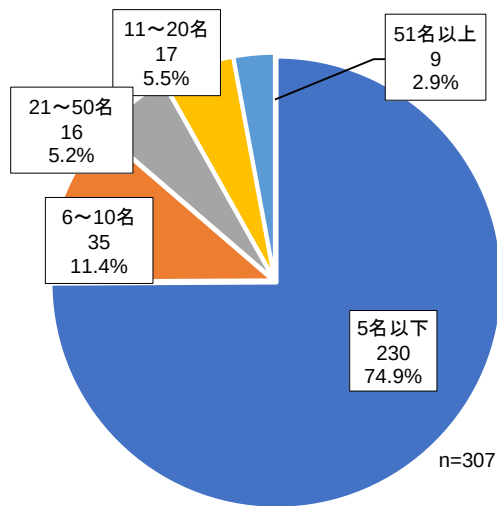
回答事業者の丸亀市内の事業所数をみると、全体の 9 割近くの回答事業者が 1 事業所のみで営業しており、丸亀市内で複数の事業所を設置している事業者は、全体の 1 割程度であった。(図表 3-2-2)

また回答事業者の丸亀市内の従業員数をみると、全体の 4 分の 3 の回答事業者では、従業員数 5 名以下で営業しており、丸亀市内で 50 名を超える従業員を抱える事業者は、全体の約 3%にあたる 9 事業者であった。(図表 3-2-3)

【図表 3-2-2】アンケート回答事業者
事業所数別構成



【図表 3-2-3】アンケート回答事業者
従業員数別構成



(7) 2021 年 7~9 月における売り上げ変化

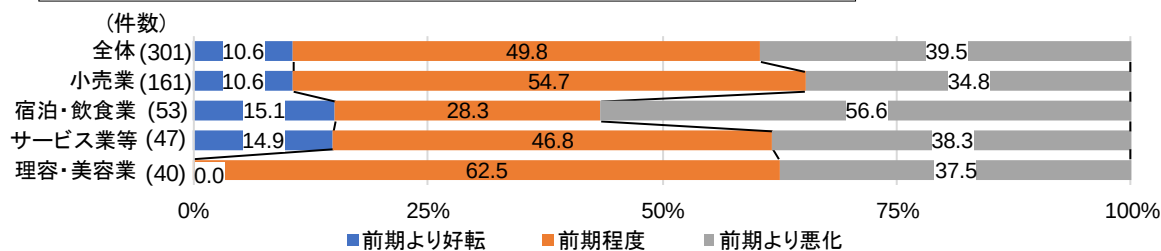
2021 年 4~6 月期の売り上げを 100 とした場合の 2021 年 7~9 月期における売り上げの変化について質問した。売り上げの変化のアンケート結果に関し、売り上げの変化 111 以上を「前期より好転」、売り上げの変化 70 以下を「前期より悪化」、好転と悪化の中間を「前期程度」の 3 つのカテゴリーに集約して売り上げの変化をみる。

2021 年 7~9 月における前四半期と比較した売り上げ変化に関し、「前期より好転」と回答した割合は全体の 10.6%となった。業種別をみると、小売業が 10.6%、宿泊・飲食業が 15.1%、サービス業等が 14.9%、そして理容・美容業が 0.0%であった。

一方、「前期より悪化」と回答した割合は全体の 39.5%であった。業種別をみると、小売業が 34.8%、宿泊・飲食業が 56.6%、サービス業等が 38.3%、そして理容・美容業が 37.5%であった。(図表 3-2-4)

宿泊・飲食業、サービス業等で「前期より悪化」との回答割合が高くなっている。2021 年 8 月 20 日より香川県に発令されていた「まん延防止等重点措置」に伴い、香川県内では様々な行動制限が課されたことが、特に宿泊・飲食業やサービス業等の売り上げに大きな悪影響を与えたことがうかがえる。

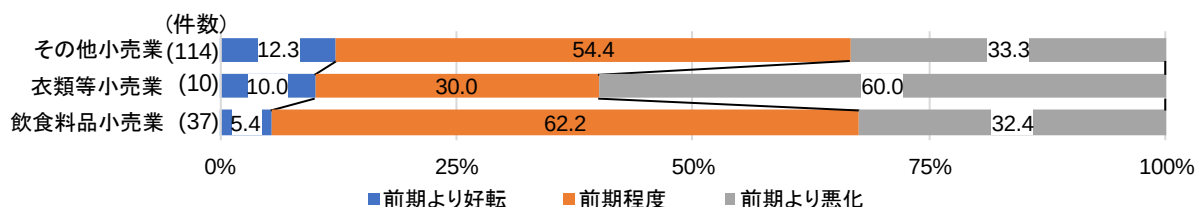
【図表 3-2-4】2021 年 4~6 月期と比較した 7~9 月期の売り上げの変化



小売業に関し、同一業種の中でもさらに細分化してみると、市民アンケートとの関連性がみえてくる。

「前期より好転」「前期程度」を合算した回答割合は、「その他小売業」「飲食料品小売業」では 7 割程度を占めているが、「衣類等小売業」では 4 割程度と低く、「前期より悪化」との回答割合は、「その他小売業」「飲食料品小売業」では 3 割程度だが、「衣類等小売業」では 6 割を占める。(図表 3-2-5)

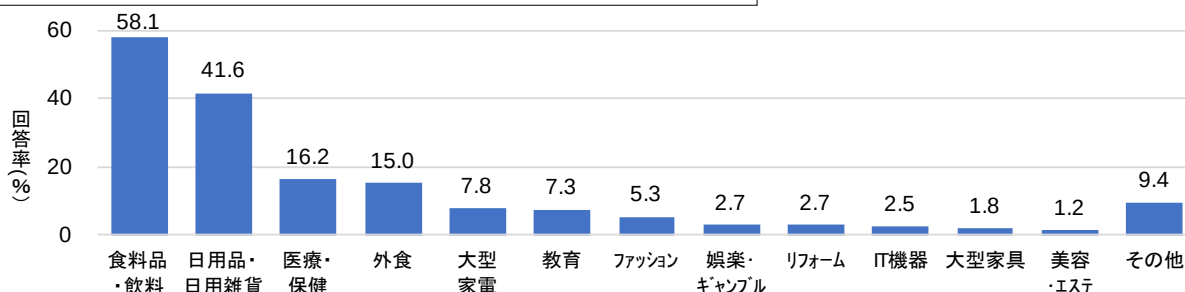
【図表 3-2-5】小売業における 2021 年 4~6 月期と比較した 7~9 月期の売り上げ変化



このことは下図（図表 3-2-6）をみると、市民向けアンケートにおける「給付金の使い道」において、多くの回答者が給付金の使い道として多く挙げた「食料品・飲料」「日用品・日用雑貨」を扱う小売業では、給付金による消費押し上げ効果により「まん延防止等重点措置」に伴う悪影響の中でも下支えされた一方、給付金の使い道としては少数だった「ファッション」を扱う小売業では、給付金による売り上げ下支え効果が小さかったと推察される。

同じく「外食」「娯楽・ギャンブル」「美容・エステ」も給付金の使い道としては少数であり、給付金による消費押し上げ効果が波及しづらかったため、「宿泊・飲食業」「サービス業等」「理容・美容業」における売り上げ下支え効果が小さかったと考えられる。

【図表 3-2-6】市民向けアンケートによる給付金の使い道(複数回答)

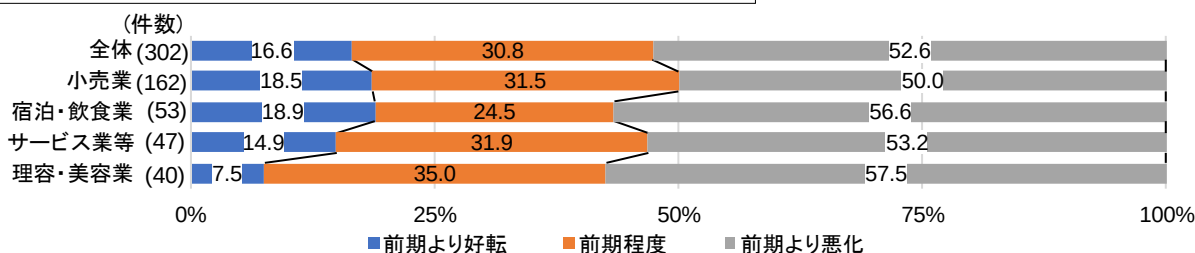


(8) 2021 年 7~9 月における採算の状況

2021 年 7~9 月における前四半期と比較した採算の変化に関し、「前期より好転」と回答した割合は全体の 16.6%となった。業種別をみると、小売業が 18.5%、宿泊・飲食業が 18.9%、サービス業等が 14.9%、そして理容・美容業が 7.5%であった。

一方、「前期より悪化」と回答した割合は全体の 52.6%であった。業種別をみると、小売業が 50.0%、宿泊・飲食業が 56.6%、サービス業が 53.2%、そして理容・美容業が 57.5%であった。(図表 3-2-7)

【図表 3-2-7】2021 年 4~6 月期と比較した 7~9 月期の採算変化



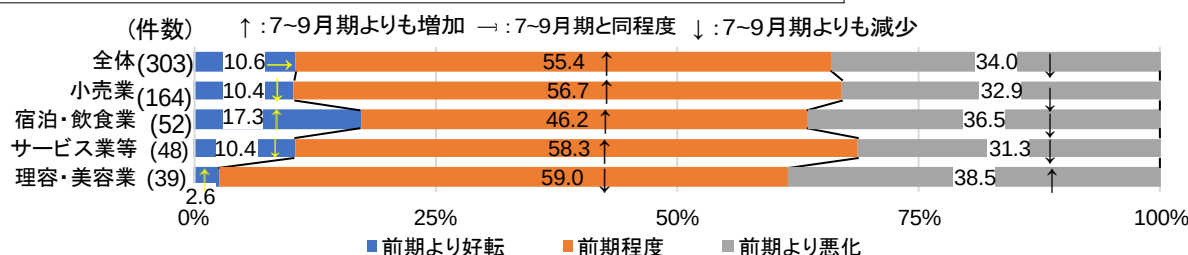
(9) 2021 年 10 月以降における売り上げ変化

2021 年 10 月以降の売り上げについて、2021 年 7~9 月期の売り上げと比較した場合の変化について質問したところ、「前期より好転」と回答した割合は全体の 10.6%と、2021 年 7~9 月期の売り上げ変化（以下「前期割合」という）と同じ割合となった。業種別をみると、小売業、サービス業等では、前期割合よりも低下する一方、宿泊・飲食業、理容・美容業では、前期割合よりも上昇した。

「前期同様」と回答した割合は全体の 55.4%と、過半数の事業所が「前期同様」と回答しており、前期割合よりも 5.6 ポイント上昇した。理容・美容業を除く全業種で前期割合よりも上昇した。

「前期より悪化」と回答した割合は全体の 34.0%と前期割合よりも 5.5 ポイント低下した。理容・美容業を除く全業種で前期割合よりも低下した。（図表 3-2-8）

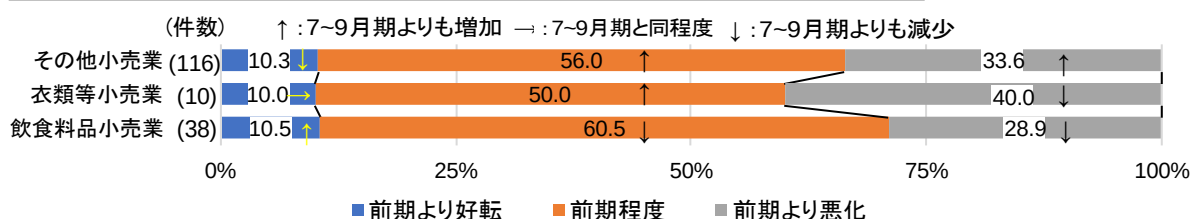
【図表 3-2-8】2021 年 7~9 月期と比較した 10 月以降の売り上げの変化



10 月以降の売り上げ変化についても、小売業を細分化してみると、市民向けアンケートにおいて給付金の使い道上位の「食料品・飲料」「日用品・日用雑貨」を扱う小売業において「前期より好転」「前期程度」を合算した回答割合が 7 割程度を占めているが、「衣類等小売業」では「前期より好転」「前期程度」を合算した回答割合が 6 割、「前期より悪化」の回答割合が 4 割となり、引き続き給付金による売り上げ下支え効果が見られる。

（図表 3-2-9）

【図表 3-2-9】業種別 2021 年 7~9 月期と比較した 10 月以降の売り上げ変化

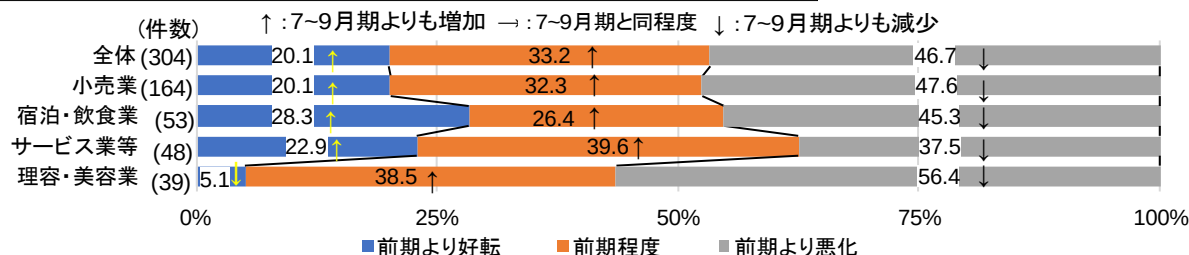


(10) 2021 年 10 月以降における採算の状況

2021 年 7~9 月と比較した 2021 年 10 月以降における採算の変化に関し、「前期より好転」と回答した割合は全体の 20.1%と前期割合よりも上昇する一方、「前期より悪化」と回答した割合は全体の 46.7%と前期割合よりも低下した。

理容・美容業を除く全業種で、「前期より好転」した比率が、前期割合よりも上昇、また全業種で、「前期より悪化」した比率が、前期割合よりも低下した。（図表 3-2-10）

【図表 3-2-10】2021 年 7~9 月期と比較した 10 月以降の採算変化



給付金事業やポイント還元事業の効果のみならず、香川県に発令されていた「まん延防止等重点措置」が、2021年9月30日をもって解除されたことにより、徐々にではあるが、香川県内の経済活動の正常化が進められたことも、丸亀市内の事業者の業況安定に貢献したと考えられる。

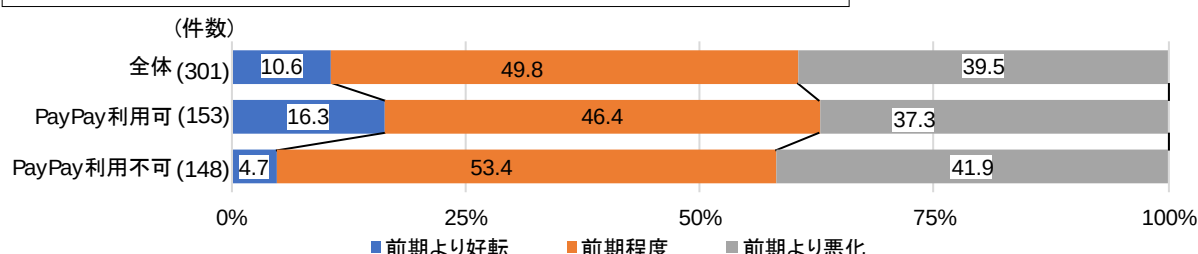
(11) ポイント還元事業による事業者の経済効果の状況

ポイント還元事業による事業者の経済効果を評価するため、PayPay が利用できる事業者と利用できない事業者との売り上げ変化を検証する。

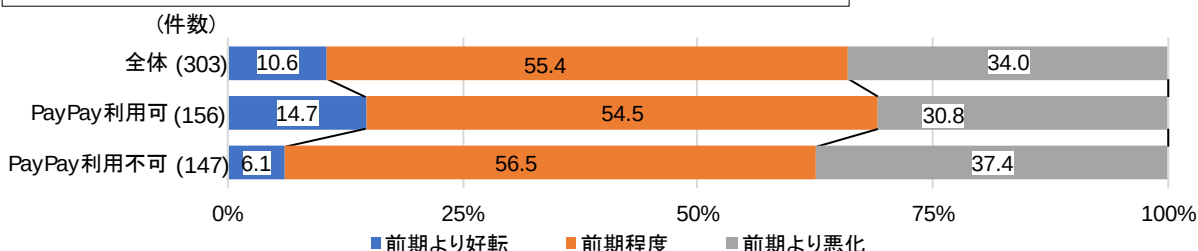
2021年4～6月期と比較した、2021年7～9月期における売り上げの変化を PayPay が利用できる事業者と利用できない事業者を分けてみると、PayPay が利用できる事業者のほうが、売り上げ好転と回答する割合が高かった。(図表 3-2-11)

同様に 2021年7～9月期と比較した、2021年10月以降における売り上げの変化を PayPay が利用できる事業者と利用できない事業者を分けてみると、PayPay が利用できる事業者のほうが、売り上げ好転と回答する割合が高かった。(図表 3-2-12)

【図表 3-2-11】2021 年 4～6 月期と比較した 7～9 月期の売り上げの変化



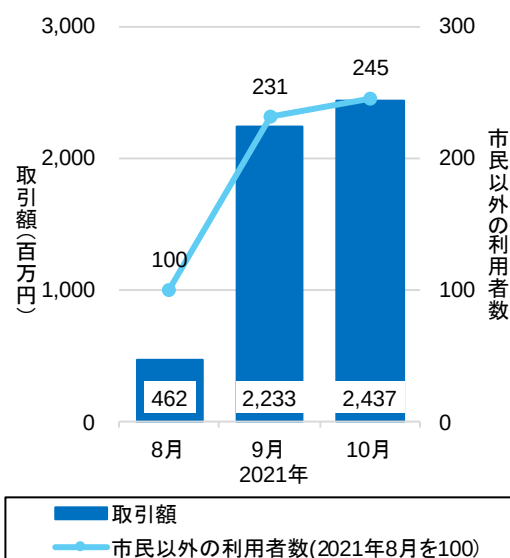
【図表 3-2-12】2021 年 7～9 月期と比較した 10 月以降の売り上げの変化



ポイント還元事業実施期間中の対象事業者の取引額をみると、2021年9月中の取引額は22億3,300万円、2021年10月中の取引額は24億3,700万円と、ポイント還元事業開始前の2021年8月中の取引額(4億6,200万円)と比較し、両月とも5倍程度に増加した。

また丸亀市民以外の利用者数は、ポイント還元事業開始前の8月と比較し、両月とも2倍以上増加しており、丸亀市外からも多くの買物客が訪れ、丸亀市内に多くの消費を取り込めた状況がうかがえる。(図表 3-2-13)

以上の結果から、ポイント還元事業は、丸亀市内の事業者に対して一定の経済効果を与えたと評価できる。



【図表 3-2-13】ポイント還元事業実施期間中の推移

(出所：PayPay 株式会社資料)

【4】まとめ

市民向けアンケートからは、給付金の7割以上が消費に回され、しかも消費額の8割以上が丸亀市内で消費されていたことが推計された。

丸亀市民からは「給付金は家計への支援になった。」とする意見が大半を占め、給付金事業の家計支援効果に対する評価も高かった。

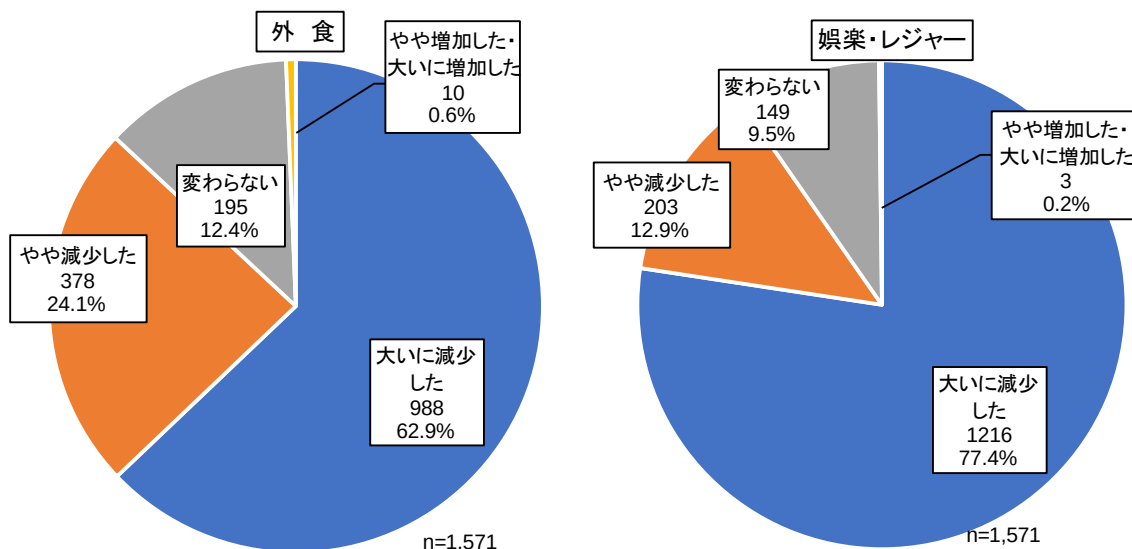
「給付金で、いつもよりもたくさんの商品・サービスが買えましたか？」との質問に対し、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見が5割程度となった。一方で「給付金で、いつもよりもワンランク上の商品・サービスが買えましたか？」との質問や「給付金で、以前から欲しかったけれど、買えなかった商品・サービスが買えましたか？」との質問に対しては、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な意見は3割程度にとどまった。ポイント還元事業に関しても同じ質問を行ったが、給付金と同様の回答傾向がみられた。このことから、給付金事業、並びにポイント還元事業では、消費の「量」を押し上げる効果は大きかったが、消費の「質」を押し上げるまでの効果は、あまり大きくなかったと推察される。なお今回の調査は、アンケートにより、主観的な給付金の消費動向を把握したものであり、他の支出の減少等までは把握していないため、家計の消費支出全体の変動までは十分に捉えられていない可能性もある。

丸亀市民の消費行動変化が店舗等事業者の業況に与えた効果に関し、市民向けアンケート調査から、給付金やPayPayで多く消費された「食料品・飲料」「日用品・日用雑貨」を扱う小売業では、業況を下支えた状況が観察されており、給付金事業、ポイント還元事業が、丸亀市内の店舗等事業者に一定の好影響を与えたことが推察された。

一方で、「外食」「娯楽・ギャンブル」「美容・エステ」に対しては、給付金やPayPayによる消費が、多く振り向けられなかったため、飲食業や娯楽サービス業の事業者における売り上げ下支え効果が小さかったことも推察された。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出頻度の変化に関する市民向けアンケート結果をみると、「外食」に関しては全体の87%、「娯楽・レジャー」に関しては、全体の90%超の人が、外出頻度を減少させていた。外出頻度を減らしている状況下、「外食」や「娯楽・レジャー」に関する商品・サービスを提供する事業者にとっては、売り上げ減少は不可避だったと考えられる。

【図表 4-1-1】外出頻度の変化



【資料編】

1. 市民向けアンケート調査票
2. 事業者向けアンケート調査票

がんばれ！まるがめ給付金 丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金 に関する市民アンケート

日ごろから市政に対し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、長引くコロナ禍のなか、大変なご苦勞、ご不便をおかけいたしております。

丸亀市では、１年以上続くコロナ禍で、丸亀市内の経済状況に大きな影響があるなか、事業者の皆様への支援や市民の皆様への生活支援につながればとの思いから、市民の皆様特別定額給付金３万円（以下、「給付金」）を支給するコロナ緊急経済対策を実施しました。

このアンケート調査は、今回の経済対策による効果等を把握するために、市内の３千世帯を無作為に選ばせていただき、実施するものです。

大変お手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートの回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和３（2021）年１０月
丸亀市長 松永 恭二

お願い

このアンケートは次のページのいずれかの方法で、**11月30日（火）**までにご回答くださいますようお願いいたします。

このアンケートは無記名方式ですので、名前や住所を記入する必要はありません。

また、調査結果は統計的に処理しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。

回答時間の目安は５分程度ですので、皆様のご協力をお願いいたします。



《お問い合わせ先》

丸亀市 産業文化部産業観光課（商工労政担当）

TEL：０８７７－２４－８８４４

FAX：０８７７－２４－８８７４

Mail：sangyokanko-k@city.marugame.lg.jp

回答方法 ※次の①または②のいずれかの方法で回答してください。

① インターネット回答

- ・ スマートフォン、タブレット、パソコンで下記へアクセスして回答してください。

https://questant.jp/q/Marugame_CitizenQuestionnaire

- ・ インターネット回答された場合、この調査票への記入及び返送は必要ありません。

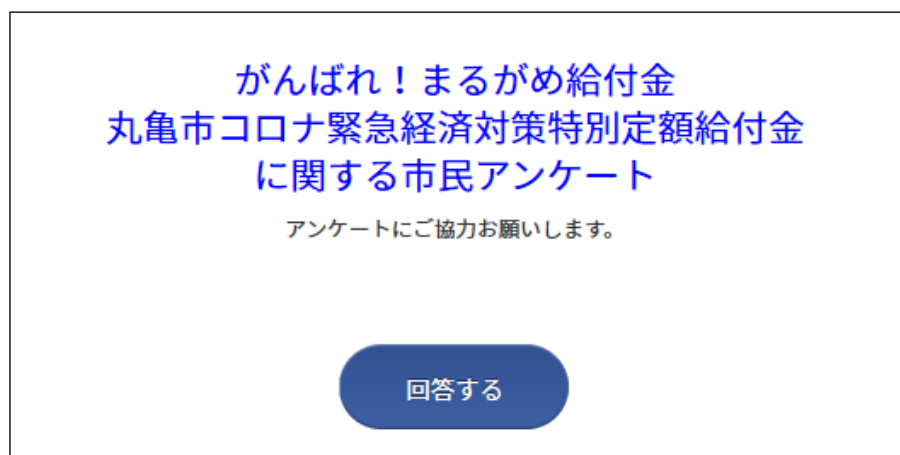
◎ インターネット回答の流れ

1. ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に、下記のアドレスを半角の英字小文字ですべて入力し、キーボードの「ENTER」キーを押してください。



スマートフォンからは、上記QRコードを読み取って回答ページにアクセスできます。

2. 表示されたページで、「回答する」をクリックしてください。



3. 以降、案内に従って回答を入力してください。

② 調査票（この冊子）による回答

- ・ 問いの指示に従って調査票に直接ご記入ください。
- ・ 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函ください。（切手を貼る必要はありません）

世帯のことについてお伺いいたします

問 1 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- 1 30歳 未満
- 2 30～39 歳
- 3 40～49 歳
- 4 50～59 歳
- 5 60～69 歳
- 6 70～79 歳
- 7 80歳 以上

問 2 あなたの世帯の人数を教えてください。(○は1つ)

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人
- 5 5人
- 6 6人
- 7 7人以上

問 3 あなたの世帯の年間収入を教えてください。(○は1つ)

- 1 200万円未満
- 2 200万円以上～300万円未満
- 3 300万円以上～400万円未満
- 4 400万円以上～500万円未満
- 5 500万円以上～600万円未満
- 6 600万円以上～800万円未満
- 7 800万円以上～1000万円未満
- 8 1000万円以上

給付金の使い道・使った額についてお伺いいたします

給付金を受け取ることで、いつもよりも使えるお金が増えましたが、給付金をどのように使ったか、またいくら使ったか、についてお伺いいたします。

問 4 貯蓄以外の給付金の使い道について、教えてください。(複数回答)

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| 1 | 食料品・飲料 |  |
| 2 | 日用品・日用雑貨 | |
| 3 | 医療・保健関連費 | |
| 4 | 子供の教育関連費 | |
| 5 | ファッション | |
| 6 | 美容・エステ | |
| 7 | 外食 | |
| 8 | 娯楽・ギャンブル | |
| 9 | テレビ、冷蔵庫等の大型家電製品の購入・買い替え | |
| 10 | スマートフォン、PC等のIT機器の購入・買い替え | |
| 11 | ソファ等的大型家具の購入・買い替え | |
| 12 | 自宅のリフォーム | |
| 13 | その他（具体的に： | |
| 14 | 特になし | |



問5 給付金で、いつもよりもたくさんの商品・サービスが買えましたか？（○は1つ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

問6 給付金で、いつもよりもワンランク上の商品・サービスが買えましたか？（○は1つ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

今日は贅沢に、
特上カルビ！



問 7 給付金で、以前から欲しかったけれど、買えなかった商品・サービスが買えましたか？（○は1つ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

問 8 あなたの世帯が受け取った給付金のうち、貯蓄以外にいくら使いました（または使う予定です）か？（○は1つ）

- 1 給付額の 0%
- 2 1～19%
- 3 20～39%
- 4 40～59%
- 5 60～79%
- 6 80～99%
- 7 100%



問 9 （問 8 で回答した）使った金額のうち、丸亀市内でいくら使いました（または使う予定です）か？（○は1つ）

- 1 使った額の 0%
- 2 1～19%
- 3 20～39%
- 4 40～59%
- 5 60～79%
- 6 80～99%
- 7 100%



今回の給付金事業のご感想についてお伺いいたします

問 10 給付金は、丸亀市内のお店での消費につながったと思いますか？（○は1つ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

問 11 給付金は、家計への支援になったと思いますか？（○は1つ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

問 12 給付金は、高齢者や子育ての支援になったと思いますか？（○は1つ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

問 13 給付金は、今後の備えになったと思いますか？（○は1つ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響についてお伺いいたします

給付金は、コロナ禍で大きな影響を受けている家計への支援、及び市民生活の安定化を図ることを目的の1つとしています。そこで、長期化するコロナ禍による市民の皆様への影響をお伺いいたします。

問 14 コロナ禍で、困ったこと・困っていることについて、教えてください。

- 1 解雇・雇い止め (複数回答)
- 2 廃業・休業
- 3 収入の減少
- 4 支出の増加
- 5 域外との往来（出張・帰省など）
- 6 外出時の感染リスク
- 7 その他（具体的に：)
- 8 特にない

問 15 コロナ禍で、お出かけ回数の変化について教えてください。（各問に○は1つ）数

① 飲食料品・生活必需品の買物に出かける回数

- 1 大いに減少した
- 2 やや減少した
- 3 変わらない
- 4 やや増加した
- 5 大いに増加した

② 外食に出かける回数

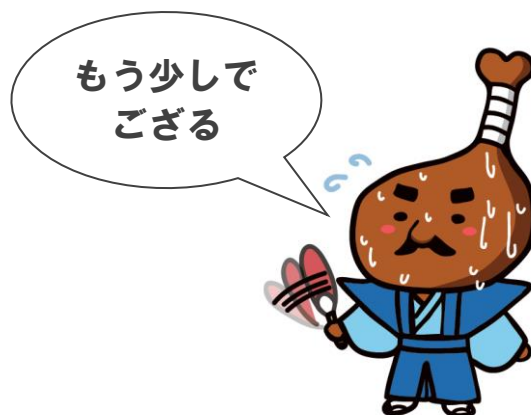
- 1 大いに減少した
- 2 やや減少した
- 3 変わらない
- 4 やや増加した
- 5 大いに増加した

③ 友人・知人との会合に出かける回数

- 1 大いに減少した
- 2 やや減少した
- 3 変わらない
- 4 やや増加した
- 5 大いに増加した

④ 娯楽・レジャーに出かける回数

- 1 大いに減少した
- 2 やや減少した
- 3 変わらない
- 4 やや増加した
- 5 大いに増加した



PayPay 最大 25%戻ってくるポイント還元キャンペーンについてお伺いいたします

売上げが減少している市内の店舗等事業者を支援するため、給付金との連動企画として、PayPay 最大25%戻ってくるポイント還元キャンペーンを9・10月に実施しました。そこで、キャンペーンの利用状況についてお伺いします。

問 16 今回のキャンペーン期間中に PayPay を利用しましたか。(○は 1 つ)

- | | | |
|---|--------------------|---------------------|
| 1 | キャンペーンをきっかけに利用を始めた | } → 問17~21へお進みください。 |
| 2 | キャンペーン以前から利用している | |
| 3 | 利用していない | → 以上で、アンケート記入は終了です。 |

以下の質問は、問16で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

問 17 今回のキャンペーン利用に際し、まるがめ給付金を使用しましたか？

- 1 まるがめ給付金の全額をチャージして使用した
- 2 まるがめ給付金の一部をチャージして使用した
- 3 まるがめ給付金は使用していない
- 4 わからない・不明

問 18 今回のキャンペーンでどのような商品・サービスを買いましたか？（複数回答）

- 1 食料品・日用雑貨
- 2 子供の教育関連費
- 3 ファッション
- 4 美容・エステ
- 5 外食
- 6 娯楽
- 7 テレビ、冷蔵庫等の大型家電製品の購入・買い替え
- 8 スマートフォン、PC等のIT機器の購入・買い替え
- 9 ソファ等的大型家具の購入・買い替え
- 10 その他（具体的に： _____）



問 19 今回のキャンペーンで、いつもよりもたくさんの商品・サービスが買えましたか？
(○は 1 つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

問 20 今回のキャンペーンで、いつもよりワンランク上の商品・サービスが買えましたか？（○は1つ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

よし今日はいつもより奮発して、

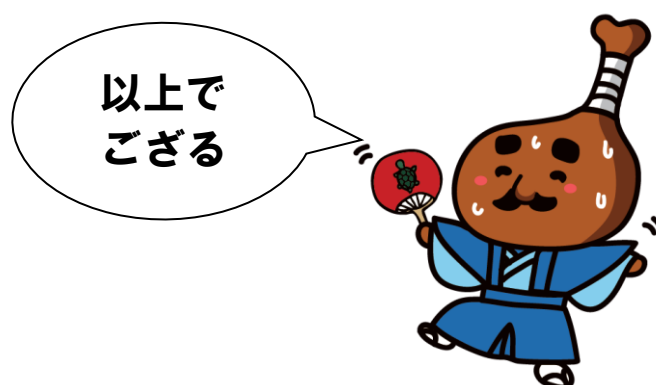
ビール買っちゃおう！



問 21 今回のキャンペーンで、いつもよりも丸亀市内のお店で買い物する機会が増えましたか？（○は1つ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、そう思わない
- 5 そうは思わない

質問は以上です。ご回答いただきありがとうございました。お手数ですが、この調査票を返信用封筒に入れ、**11月30日（火）**までに郵便ポストに投函してください。



がんばれ！まるがめ給付金
丸亀市コロナ緊急経済対策特別定額給付金
に関する事業者向けアンケート

日ごろから市政に対し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、長引くコロナ禍のなか、大変なご苦勞、ご不便をおかけいたしております。

丸亀市では、1年以上続くコロナ禍で、丸亀市内の経済状況に大きな影響があるなか、事業者の皆様への支援や市民の皆様への生活支援につながればとの思いから、市民の皆様特別定額給付金3万円（以下、「給付金」）を支給するコロナ緊急経済対策を実施しました。

このアンケート調査は、今回の経済対策による企業活動への影響等について、丸亀商工会議所と丸亀市飯綾商工会による協力のもと、丸亀市内で店舗や事業所を経営する皆様を対象として、実施するものです。

大変お手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートの回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3（2021）年11月
丸亀市長 松永 恭二

調査票記入にあたってのお願い

このアンケートは無記名方式ですので、名前や住所を記入する必要はありません。

また、調査結果は統計的に処理しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。

回答時間の目安は5分程度ですので、皆様のご協力をお願いいたします。

記入していただいた調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、**11月30日（火）までに郵便ポストに投函してください**

（切手を貼る必要はありません）



《お問い合わせ先》

丸亀市 産業文化部産業観光課（商工労政担当）

TEL：0877-24-8844

FAX：0877-24-8874

Mail：sangyokanko-k@city.marugame.lg.jp

貴事業所についてお伺いたします。

問 1 貴事業所の業種を教えてください。(○は1つ)

- 1 飲食料品小売業
- 2 衣類等小売業
- 3 その他小売業 (具体的に:)
- 4 飲食店
- 5 宿泊業
- 6 理容・美容
- 7 生活関連サービス
- 8 娯楽・レジャー
- 9 教育・学習
- 10 運輸業・運送業
- 11 その他 (具体的に:)

問 2 貴事業所の丸亀市内の事業所数を教えてください。(○は1つ)

- 1 0
- 2 1
- 3 2
- 4 3以上

問 3 貴事業所の丸亀市内の従業員数を教えてください。(○は1つ)

- 1 5名以下
- 2 6～10名
- 3 11～20名
- 4 21～50名
- 5 51名以上

問 4 貴事業所ではどのようなキャッシュレス決済を導入していますか。(複数回答)

- 1 PayPay
- 2 PayPay 以外のQRコード (LINE Pay, d払い等)
- 3 電子マネー (nanaco,Suica,WAON等)
- 4 クレジットカード (VISA,JCB等)
- 5 その他 ()
- 6 導入していない (現金決済のみ)

貴事業所（丸亀市内）の今年7月から9月までの業況についてお伺いいたします。

問 5 貴事業所の今年 7 月から 9 月までの売上高は、前の期（今年 4 月から 6 月）を 100 とした場合、どの程度でしたか（○は 1 つ）

- | | | | |
|---|-------|---|---------|
| 1 | 0～40 | 5 | 101～110 |
| 2 | 41～70 | 6 | 111～120 |
| 3 | 71～99 | 7 | 120 以上 |
| 4 | 100 | | |

問 6 貴事業所の今年 7 月から 9 月までの採算は、前の期（今年 4 月から 6 月）と比較した変化を教えてください（○は 1 つ）

- 1 前の期より良くなった
- 2 前の期と変わらなかった
- 3 前の期より悪化した

貴事業所（丸亀市内）の今年10月から現在までの業況についてお伺いいたします。

問 7 貴事業所の今年 10 月から現在までの売上高は、前の期（今年 7 月から 9 月）を 100 とした場合、どの程度でしたか（○は 1 つ）

- | | | | |
|---|-------|---|---------|
| 1 | 0～40 | 5 | 101～110 |
| 2 | 41～70 | 6 | 111～120 |
| 3 | 71～99 | 7 | 120 以上 |
| 4 | 100 | | |

問 8 貴事業所の今年 10 月から現在までの採算は、前の期（今年 7 月から 9 月）と比較した変化を教えてください（○は 1 つ）

- 1 前の期より良くなった
- 2 前の期と変わらなかった
- 3 前の期より悪化した

質問は以上です。ご回答いただきありがとうございました。お手数ですが、この調査票を返信用封筒に入れ、11月30日（火）までに郵便ポストに投函してください。